

## 6月23日（水）「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されました

今年度もコロナ感染状況を踏まえ規模を縮小し、まちづくり委員会地域振興委員会、各委員会、地域協議会、基本構想推進委員第1、第5分科会、浜井場小学校PTAなどが参加、市側からは佐藤市長、副市長、教育長、教育次長、総合政策部長、市民協働環境部長が出席し「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されました。

冒頭、佐藤市長の挨拶では橋北地区に対する思いなどについて、「春草ゆかりのよき街並みで文化的な趣を残す街、10/9から始まる春草展が楽しみ。警察署、税務署、検察庁、裁判所、消防署など昔から公の機関が存在する街、丘の上（中心市街地）は人口重心とリニア広域交通拠点との中間に位置し役割分担として重要な場所である」と橋北地区についての思いを語られました。

地域課題についての意見交換では

テーマ1 浜井場小学校の将来について（担当：基本構想第1分科会）

テーマ2 旧飯田測候所測風塔の再整備について（担当：基本構想第5分科会）

テーマ3 飯田警察署の現地建替えについて（担当：地域振興委員会）

について意見交換が行なわれました。

第1分科会では飯田らしいキャリア教育について、児童クラブ、放課後の居場所づくり、通学路の安全（スクランブル交差点導入の要望）、乳幼児学級子育て世代のお母さんたちがコロナ禍で孤立しないよう集まって話が出る環境を作ってほしい等意見が出されました。

第5分科会では旧飯田測候所、測風塔の沿革、活用方法についてのアンケート結果、再整備についてなんとか橋北地区活性化につながる良い活用方法がないか模索し、意見が交わされました。

飯田警察署現地建替えについてはこれまでの経緯、活動を踏まえ、進捗状況の確認、要望が出されました。

その他、菱田春草没後110年にあたる今年、春草を是非飯田市の名誉市民に認定して頂きたいという意見や浜井場小学校、野底川沿い上郷辺りの通学区見直しについても要望意見がありました。

最後に市長から「浜井場小学校の将来、旧飯田測候所/測風塔利活用、飯田警察署の現地建替えなど、橋北地区の皆さんの熱い思いを受け止め、課題解決に向け共に取り組んでいくことを確認しました。また、年一回だけでなく、ふれあいトークを少人数でも活用して頂く機会をお願いしたい」と挨拶がありました。



## 橋北まちづくり委員会囲碁ボール交流会

令和3年6月6日の午後、浜井場小体育館で開催されました。

令和3年度の役員改選により、橋北まちづくり委員会に所属する各委員会が新たな委員で4月から運営されています。委員会内での役員同士の交流はもちろん、委員会を越えた交流も非常に重要なものとなるため、コロナ禍ではありますが、感染予防対策に万全を期す中で、委員会全体としての交流と親睦を深めることを目的として開催されました。

参加は、まちづくり委員会、地域振興委員会（各町内自治会長）5チーム、交通安全部、防火防犯部、健康推進部、地域福祉部、文化育成部、体育育成部（2チーム）、広報部、公民館の15チームが5ブロックに分かれて交流しました。

囲碁ボールが初めての人も多く、ルールの勉強をしてゲームスタート。接戦、逆転もあり皆真剣に戦い、楽しみ、いい汗をかいた交流会でした。



## 旧飯田測候所管理運営方法について

旧飯田測候所の現在の指定管理者の指定期間が、今年度末で満了になります。令和4年度からの管理運営について、市から以下の3つの方針が示されました。

- ①市が直営（市が職員を雇用するなどして管理）
- ②一部管理委託（清掃、庭の手入れなどの施設管理の一部を業者に委託）
- ③指定管理者制度（民間の力を借りる）

橋北まちづくり委員会では、③について橋北で受けるかの検討をしてきました。

結果、検討、準備期間が短すぎることで、会計管理が煩雑になること、橋北まちづくりの拠点は公民館であること及びまちづくり委員会などの負担が増えるなどの理由で、令和4年度の指定管理を受けることができないといたしました。皆様のご理解をお願いします。